

あの素晴らしい土木技術をもういちど

第119回 EVENING THEATER

北海道特集

～でっかいどう北海道～

明治期に本格的な開拓が始まり、150年の歴史を紡ぐ北海道。最近では、アニメ「ゴールデンカムイ」が話題になるなど、歴史を含めて「北海道」に関心を持たれる方も多いのではないのでしょうか。その広さは、面積では東北地方6県の合計の1.2倍以上、東端の納沙布岬から西の神威岬までは550km（車で8時間）、北端の宗谷岬から南端の函館までは650km（車で8時間40分）と表現すると、実感していただけるかもしれません。今回のイブニングシアターは、その厳しい自然のもとで人々が生活する舞台を整えてきた近代土木技術の「記憶」に注目してみました。

ミュンヘン大橋

氷の海に築く

— サロマ湖アイスブーム工法 —

上映スケジュールは裏面またはHPでご確認下さい。劇場内での録音、撮影はご遠慮下さい。

2024年10月23日（水）18:00 開場 18:30 開演 参加無料
 土木学会 講堂 （JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分）

HPにて参加申込み受付

<https://committees.jsce.or.jp/avc/>

土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。イブニングシアターは、CPDプログラムです。

問合せ先：土木学会土木図書館 土木技術映像委員会担当 TEL 03-3355-3596

上映作品

ミュンヘン大橋

企画：札幌市建設局 制作：HBC映画社 1992年 35分

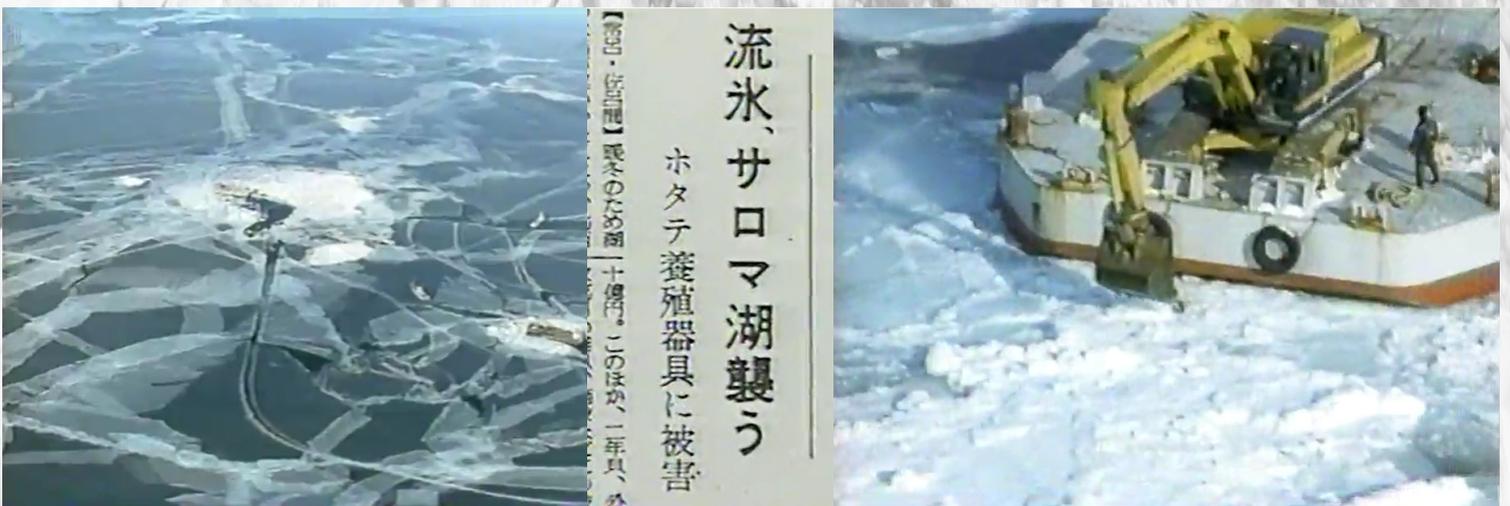


札幌市内の南区と豊平区を走る道道福住桑園通は豊平川で分断され、スムーズな交通の妨げとなっていました。これを解消するために昭和63年に着工されたミュンヘン大橋は、豊平川の厳しい河川条件や周囲の景観との調和を検討し、プレストレストコンクリート床版による斜張橋で施工されました。斜材の定着材には世界初の分岐管式定着方式を採用するなど、技術的にも困難なこの工事の計画から完成・開通までを記録した映像となっています。

氷の海に築く

—サロマ湖アイスブーム工法—

企画：北海道開発局網走開発建設部 制作：北海道放送映画 1998年 22分



オホーツク海を南下してくる流水は、サロマ湖内に流れ込むことで毎年漁業関係者に大きな被害を及ぼしていました。この対策としてサロマ湖の湖口に世界で初めてアイスブーム工法による流水流入対策が施されました。本作品はこのアイスブームの建設の発想や様々な工夫、施工方法を、地元漁民や有識者のインタビューを交えて紹介しています。